

校長だより

第2学年の生徒が北海道スキー修学旅行に行ってきました

令和6年1月12日（金）～15日（月）の3泊4日の日程で第2学年（47回生）は北海道へのスキー修学旅行に行ってきました。

【1日目＝1月12日（金）】早朝に神戸を出発し、昼過ぎには宿泊先のルスツリゾートホテル&コンベンションに到着しました。その後、ゲレンデに出てスキースクールの開校式に臨みました。

青空の下、北海道の雄大な自然を舞台にスキー班とスノーボード班に分かれ、実習が始まりました。最初は、思うようにスキーを操れず、悪戦苦闘する生徒の姿が見られました。

実習終了後、北海道の食材を使ったホテルの夕食は大変おいしく、体と心の疲れを吹き飛ばしてくれました。



スノーボードの実習に臨む本校生徒

【2日目＝1月13日（土）】スキー実習2日目。朝からリフトに乗って本格的に実習に臨みました。実習終了後には、へこたれることなく、笑顔でホテルに帰ってくるたくさんの生徒を見ることができました。

この日の夜は、修学旅行委員が中心となって学年レクリエーションを行いました。生徒有志による歌やダンスに続き、ゲーム大会を行い、クラスの枠を越えた親睦を図ることができました。



生徒有志によるダンスに先生も参加

【3日目＝1月14日（日）】スキー実習3日目。夜に降った新雪と晴れ間の見える空に恵まれた好コンディションのもと、スキー実習の最終日を迎えました。

この日は、ゲレンデツアーが計画されており、各実習班がインストラクターの引率のもと、ゴンドラやリフトを乗り継いで遠方の山頂付近へ移動しました。その後の閉校式での代表生徒の挨拶の言葉から、自分たちが壁を乗り越えた経験とそこからくる自信を感じることができました。



閉校式に臨む生徒たち

【4日目＝1月15日（月）】修学旅行最終日。朝食後にルスツリゾートホテルに別れを告げ、小樽での班別研修に向かいました。この日は雪の降りしきる中で北海道名物のスイーツをおみやげに買う生徒や昼食に海鮮丼やラーメンを食べる生徒らの姿がありました。

悪天候の影響が心配されましたが、新千歳空港を出発し、無事、大阪空港に到着、解団式を行い、神戸への帰路に就きました。

解散後に家路に向かう生徒たちの笑顔から充実した時間を過ごした様子を感じ取ることができました。



小樽ではラーメンに舌鼓

【修学旅行を終えて】

- インフルエンザやコロナの影響を危惧していたものの、幸いにも修学旅行中は、ほぼ体調不良の生徒が出なかったこと、また大きなけががなかったことに何より胸をなでおろしています。おかげ様でほぼ予定通りに修学旅行の行程を終えることができました。
- 修学旅行中、学年レクリエーション大会を企画・運営した修学旅行委員、ホテルでの各部屋の室長や各係、スキー実習の班長等が自分の役割を果たそうと奮闘する姿をたくさん見ることができました。47回生の生徒の中から、リーダーたちが確実に育っていることを頼もしく感じました。

修学旅行実施にあたり、保護者様をはじめ、支えていただいた方々に感謝申し上げます。